

コロナ禍における 韓国語教育の実情調査

アンケート結果の報告
須賀井義教(近畿大学)

調査の目的

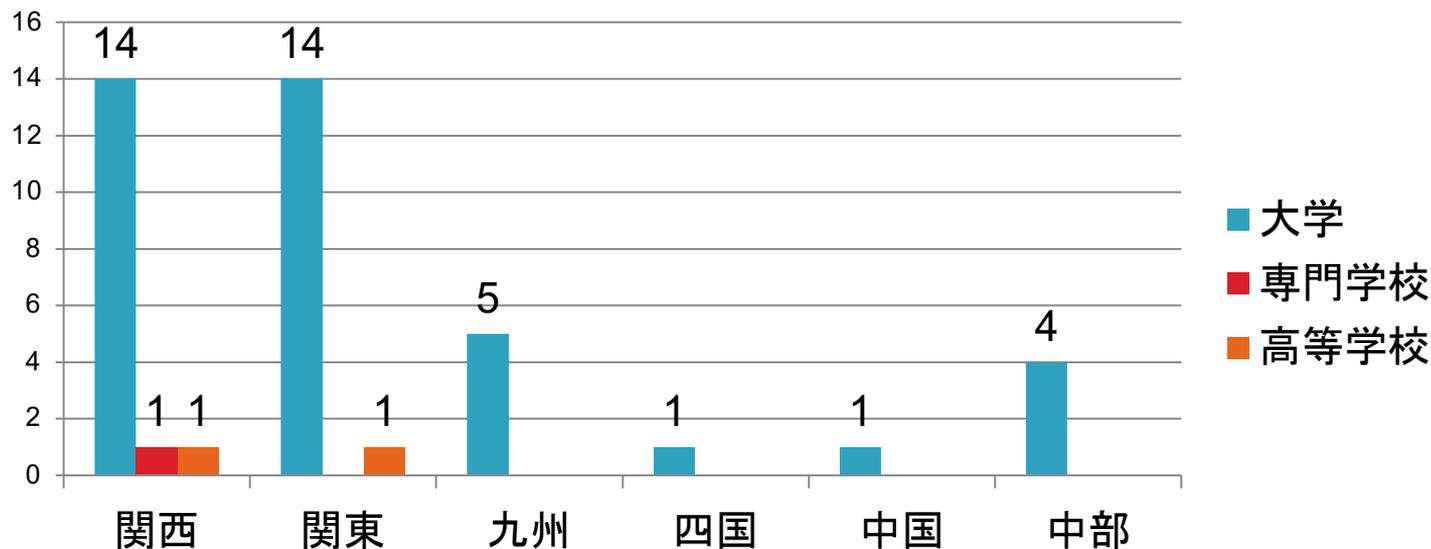
- 韓国語教育実情調査分科会
- 昨年度にパイロット調査（第84回例会時に中間報告）
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い，韓国語教育の現場に大きな影響
- 2020年の前半，その実情はどうだったのか？
- 今年度全国調査の妥当性を確認

回答項目

- 回答者情報
- 回答する授業の情報(実施大学名, 授業名, 学年, 受講者数, 統一シラバスか, など)
- 授業の運営方法(対面 or オンライン, どのような手段を使ったか, 評価方法, など)
- 昨年度の授業情報
- 印象(困った点, 良かった点, 出席率の変化, など)
- 受講生からの反応, 受講生の状況

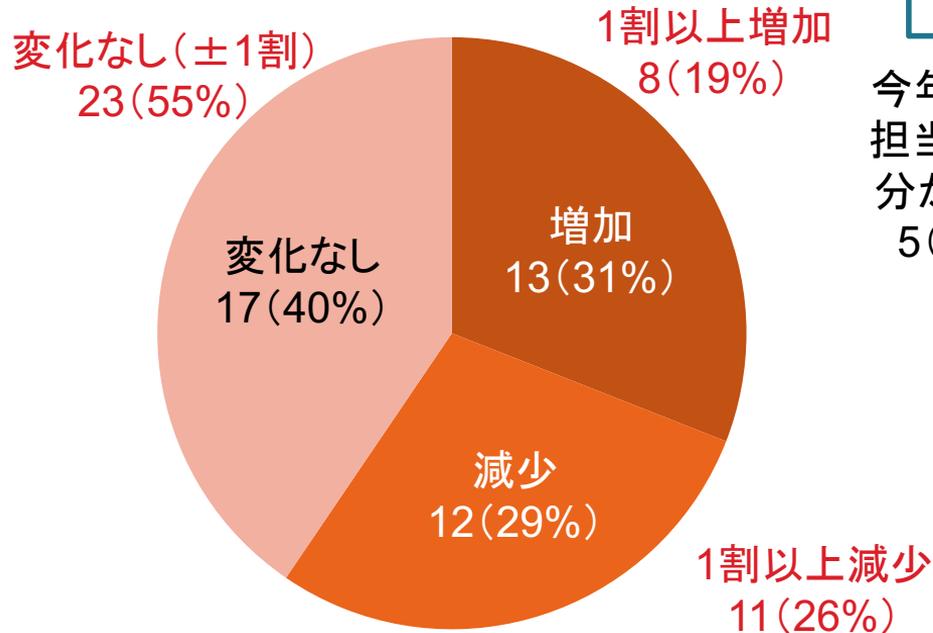
回答数

- 延べ42件の回答(1人で複数回答してくださったケースあり)
- 内訳: 大学39, 高等学校2, 専門学校1
- 地域別:

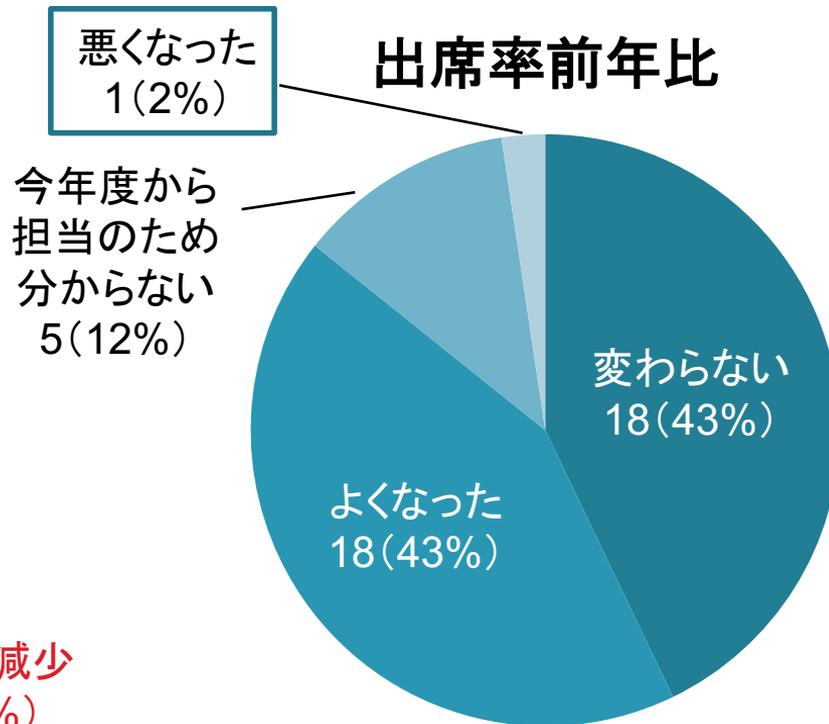


受講者数関連前年比

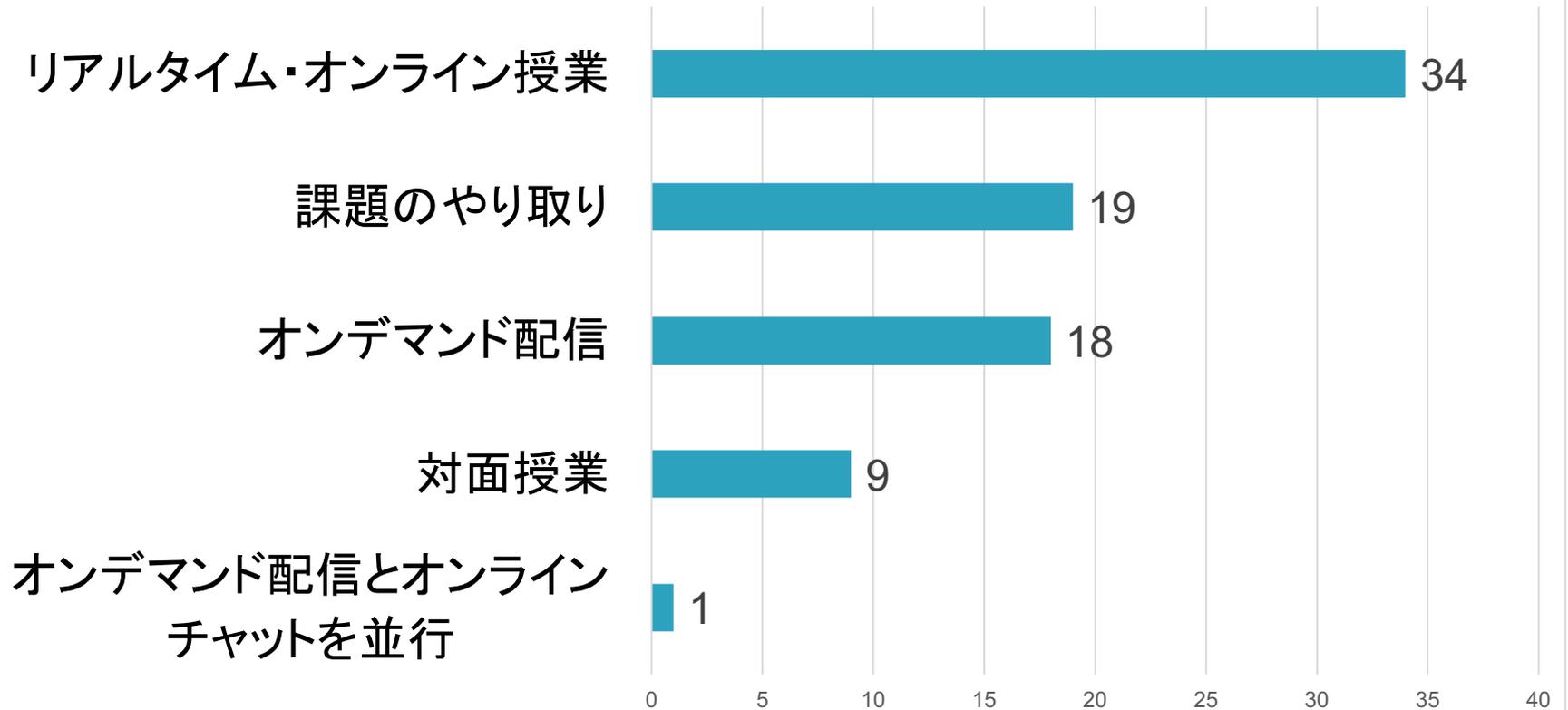
受講者数前年比



出席率前年比



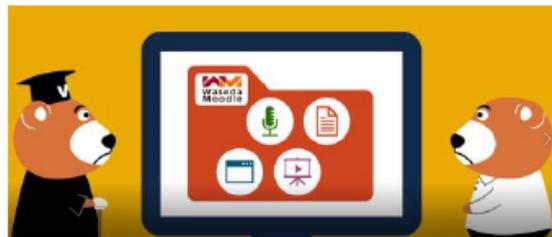
授業の方法(複数回答可)



オンライン授業の形式(早稲田大資料)

●オンライン授業の受講形式は3つあります。

形式は今後の状況や授業により、異なりますので、いずれの形式にも対応できるようにしましょう。



講義資料・課題提示による授業

スライド資料など授業で用いる資料を教材として学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、履修生同士の意見交換等を行います。



収録内容オンデマンド配信による授業

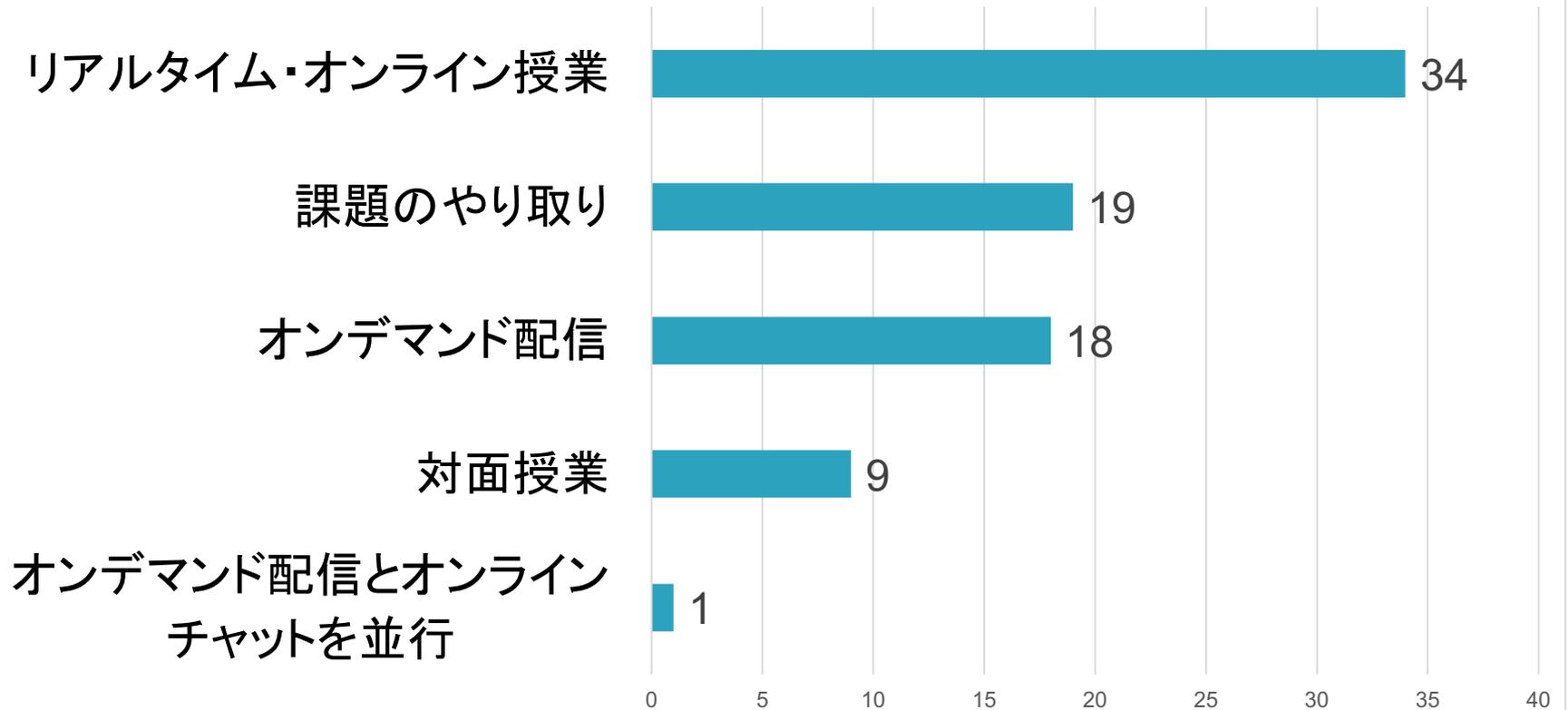
講義動画を視聴することで学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、履修生同士の意見交換等を行います。



リアルタイム配信による授業

リアルタイムで配信される講義や双方向での議論をとおして学びます。小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、履修生同士の意見交換等を行います。

授業の方法(複数回答可) 再掲



リアルタイム	課題やり取り	オンデマンド	対面	回答数	備考
●				13	
●	●	●		10	
●	●			4	
●			●	4	専門学校1
		●		4	
●	●	●	●	1	途中から対面に
●	●		●	1	
●		●		1	
	●	●	●	1	
	●	●		1	
	●		●	1	高校1
			●	1	高校1

リアルタイム＋オンデマンド(1件)

- MSのteamsを使用し、ライブ授業・課題提出及びフィードバックを行った。
- 人数が多いクラスは、前半組・後半組に分けて、40分ずつライブを行い、足りない部分は、オンデマンドの動画を作成
- 小テストは、全員カメラをオンにし、不正がないように、最大限カメラの角度を調整するように指示して、5回程度行った。
- 課題はteams内の課題管理を利用し、手書きの場合は写真提出を、パソコン入力はそのままteams内で提出するように指導した。

約8割は
学校側から
指示あり

授業方法についての指示

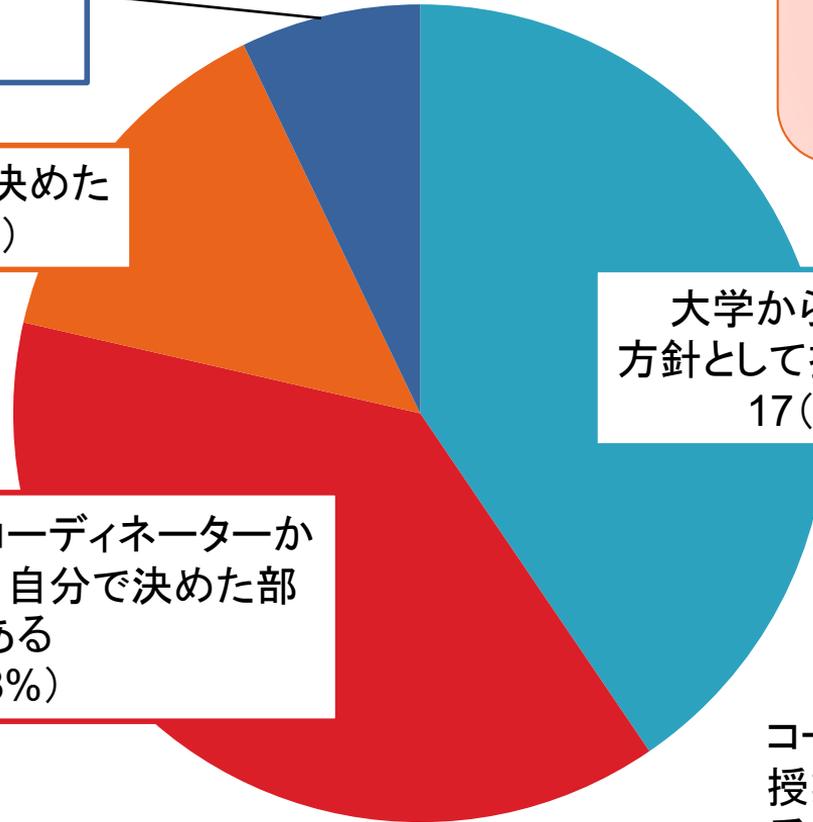
大学から指定された方法から
選択し、組み合わせた
3(7%)

全て自分で決めた
6(14%)

大学から全学的な
方針として指示を受けた
17(41%)

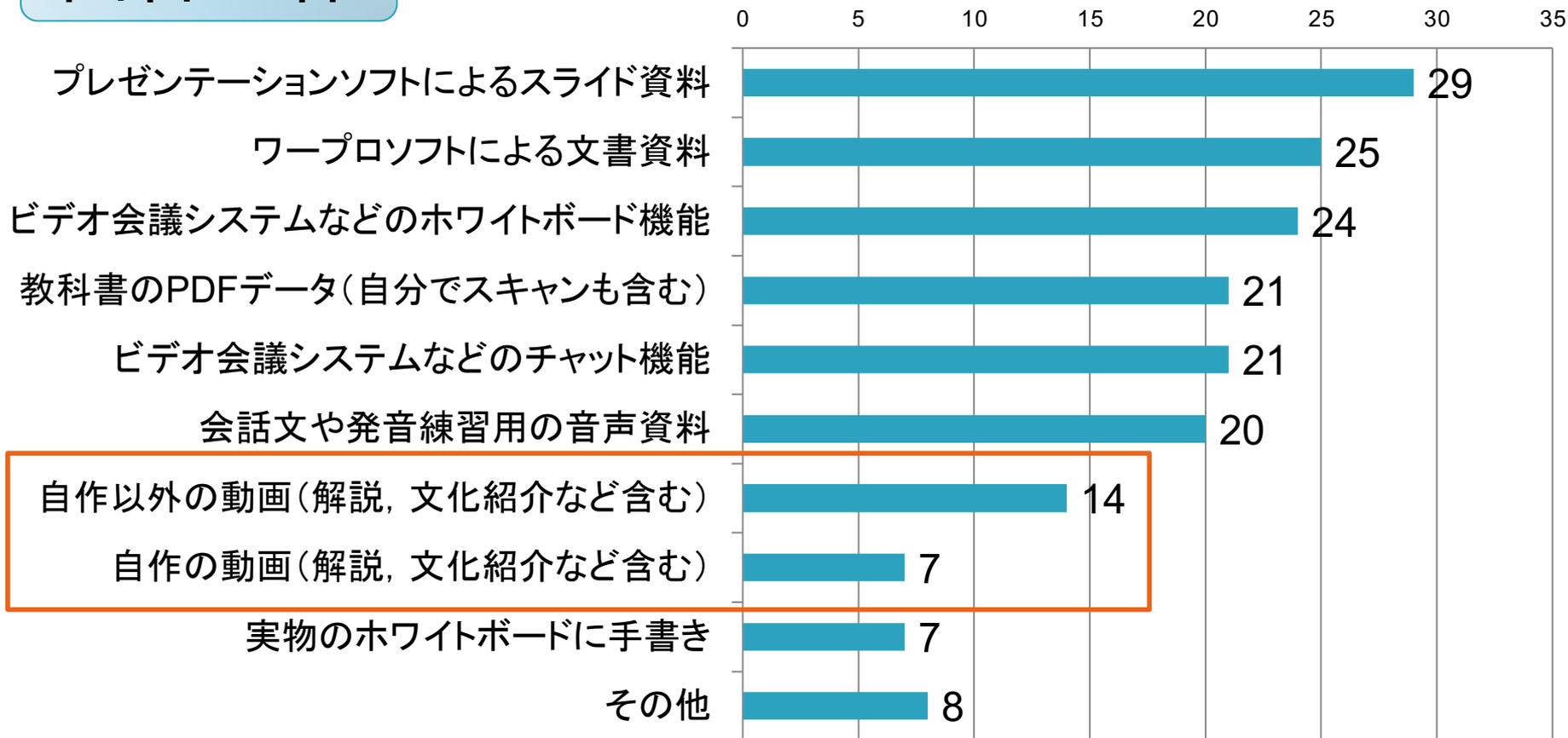
大枠は大学またはコーディネーターから
指示を受けたが、自分で決めた部
分もある
16(38%)

コーディネーター、教務委員など
授業を統括する教員から指示を
受けた...回答なし



回答34件

リアルタイム授業での提示内容(複数回答)



リアルタイム授業・その他

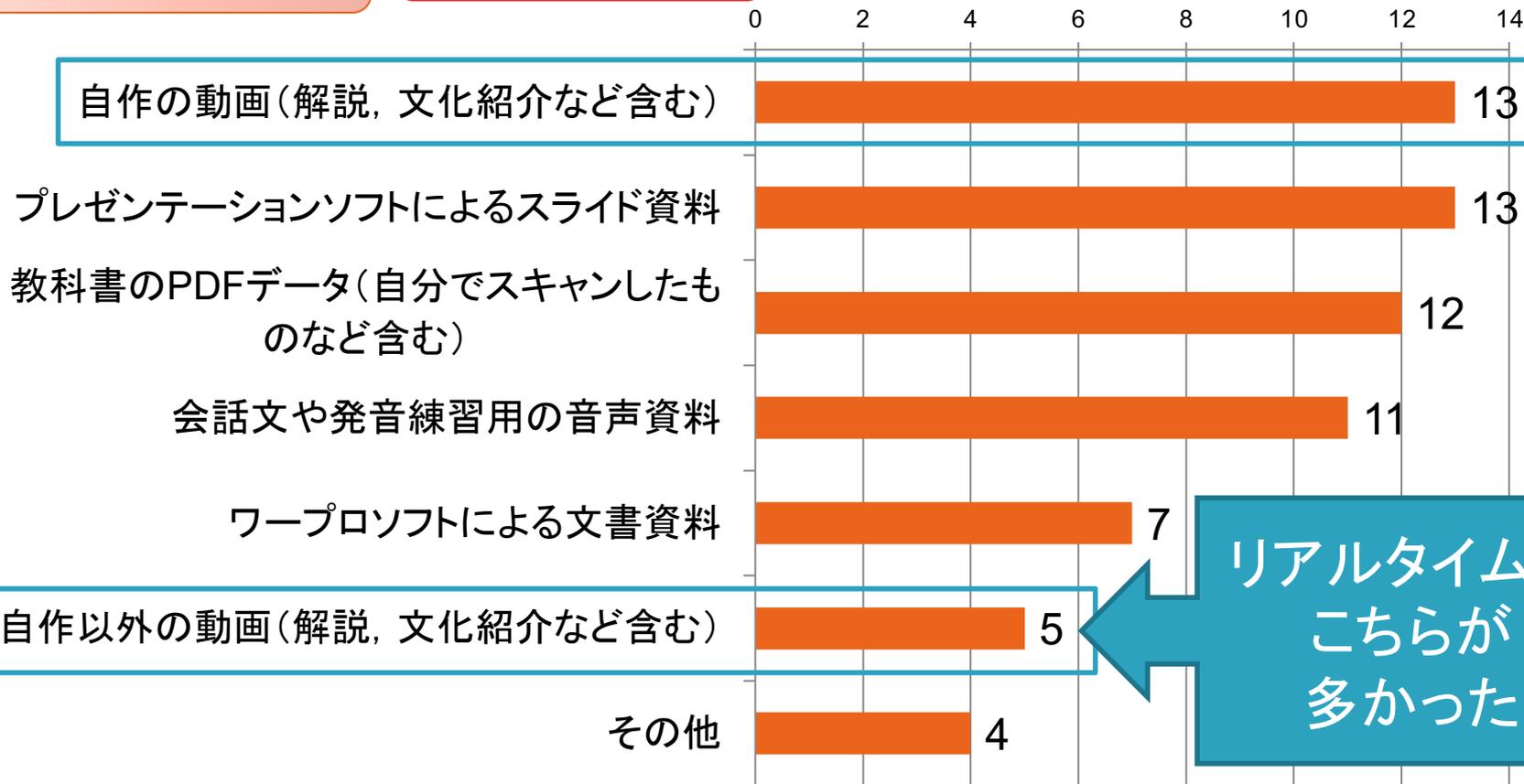
- ① iPadの画面をミラーリングし、アイペンシルなどで書き込みながら解説。**コメントスクリーン**を使用して、匿名性でzoomの最中は随時学生とのやり取りを行う。
- 韓国の雑誌記事や日本の書籍PDF
- google form (テスト機能)
- iPadで手書き
- Moodleクイズ、PDFデータにペンタブ書き込み解説
- 音声CD
- LINE Open Chat
- コメントスクリーン、Goodnotes

ニコニコ動画のように
コメントが流れてくる



回答18件

オンデマンド配信の内容(複数回答)

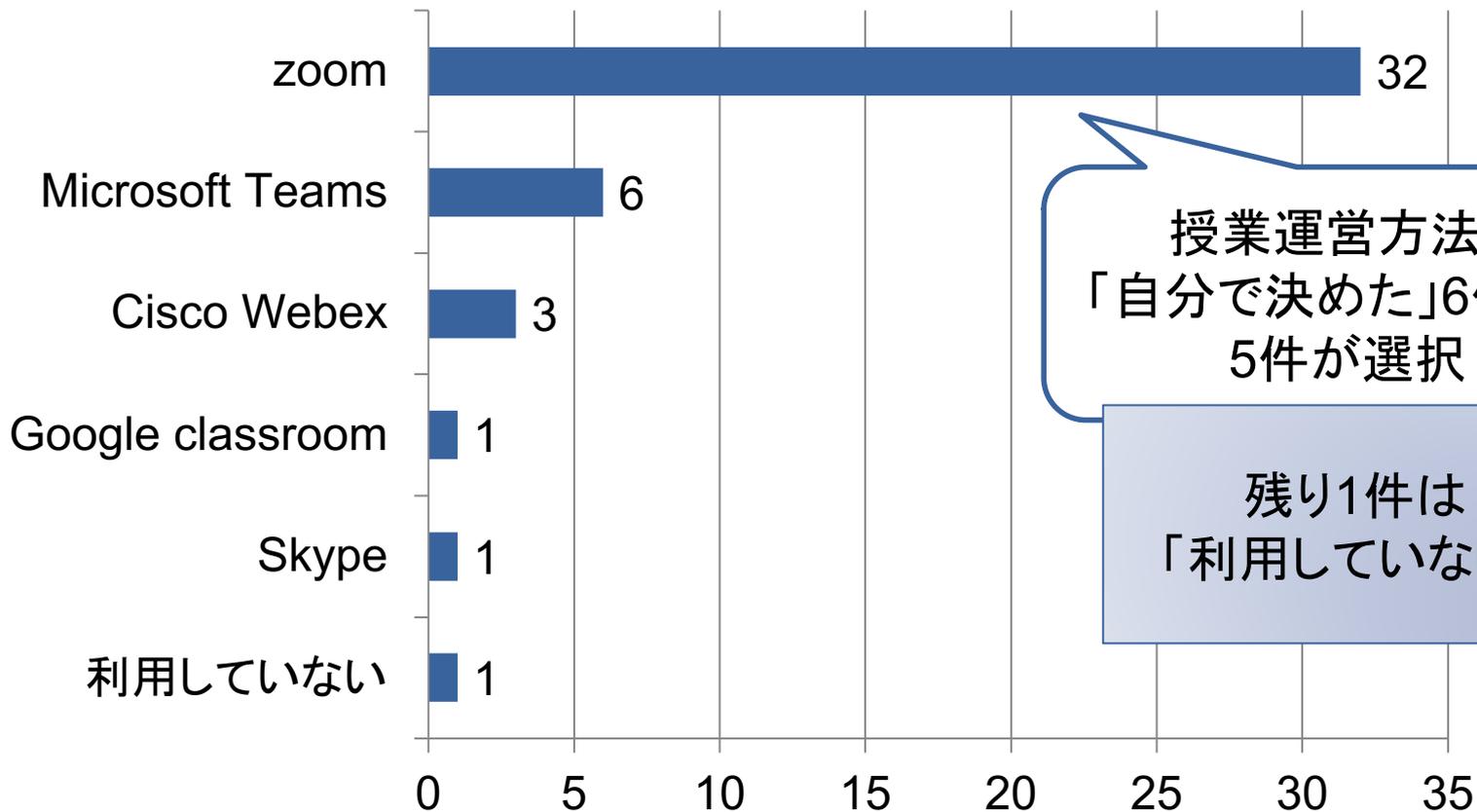


リアルタイムは
こちらが
多かった

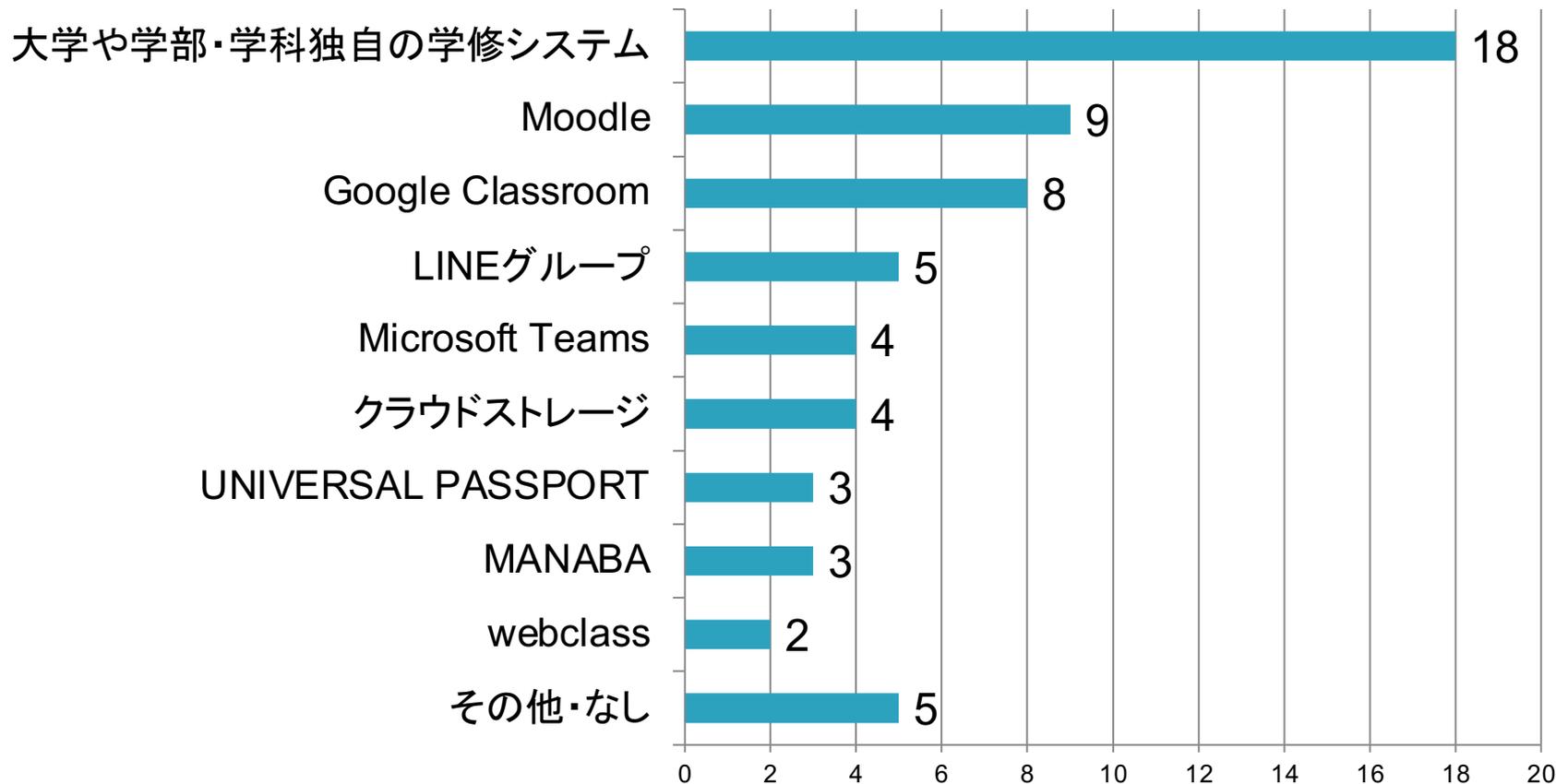
オンデマンド・その他

- 教科書のPDFデータをiPadに取り込み、good notesのアプリを利用して書き込みながら音声の解説を入れる。
- オンラインクイズ
- 小テスト
- Goodnotes

ビデオ会議システム(複数回答)



課題の提出など受講生とのやり取り(複数回答)

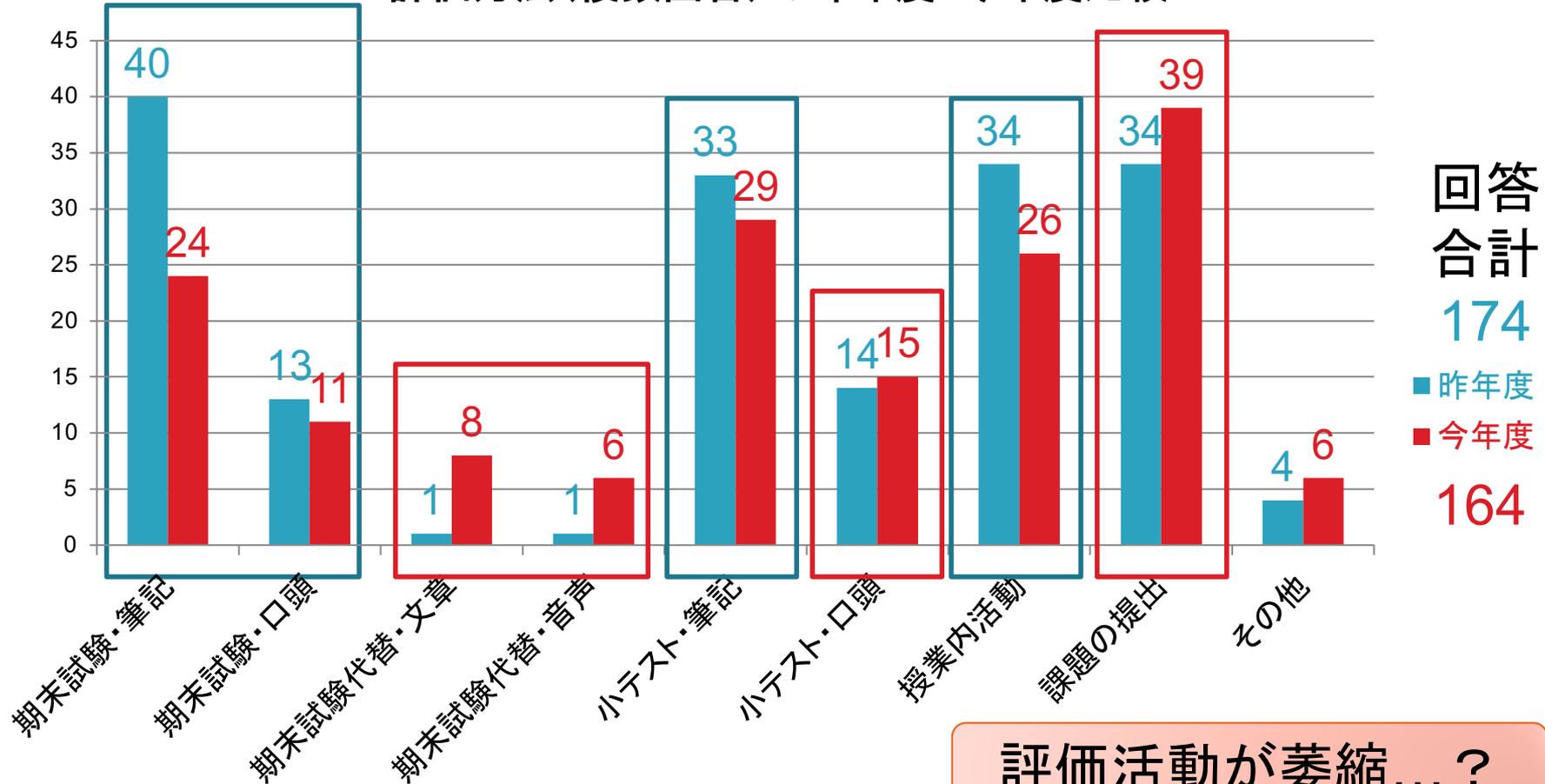


受講生とのやり取り・その他

- 課題は他教科とともに、郵送pack[高校の事例]
- manabaが使えない学生・履修を間違えた学生はメールで個別対応
- 大学が提供する学生メール
- BAND
- なし

無料のグループ
コミュニケーションアプリ

評価方法(複数回答)の昨年度・今年度比較

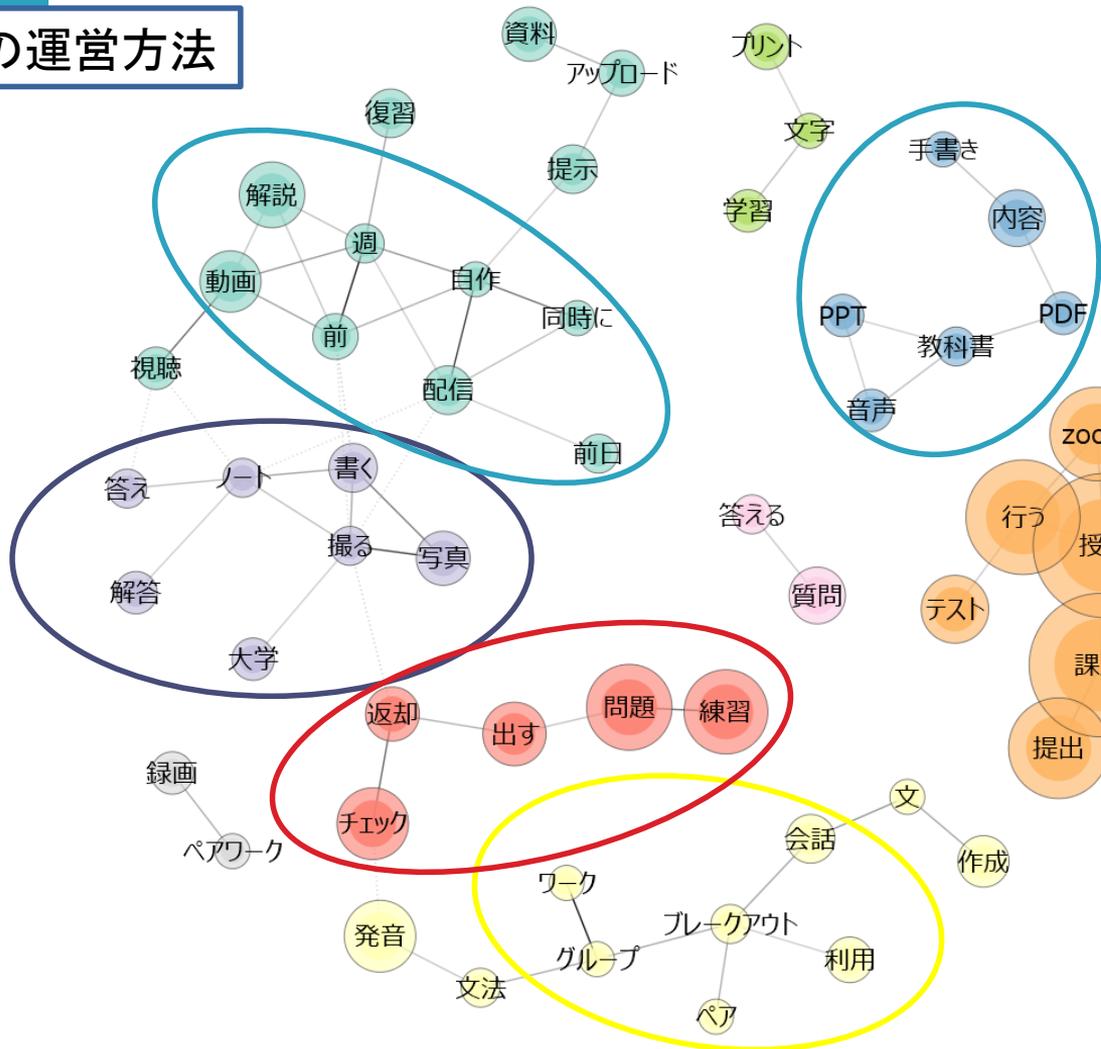


評価活動が萎縮...?

評価方法・その他(今年度)

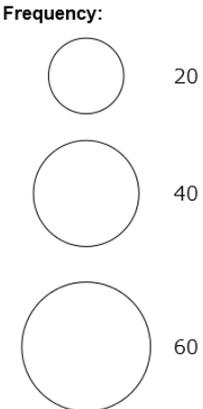
- レポート
- 総括試験としてWebClassで選択式試験を行いました。
- 筆記試験は多量で難易度の高い問題を出し、制限時間内のオーブンブックで行いました。
- Moodleの単語、文章選択クイズ
- 小テスト:MoodleのQuizに答える
- 通年科目であり、前期は成績を算出しないが、学年末の評価のため、上記の方法[授業内活動・課題の提出]で評価をし、記録を取っておいた。

授業の運営方法



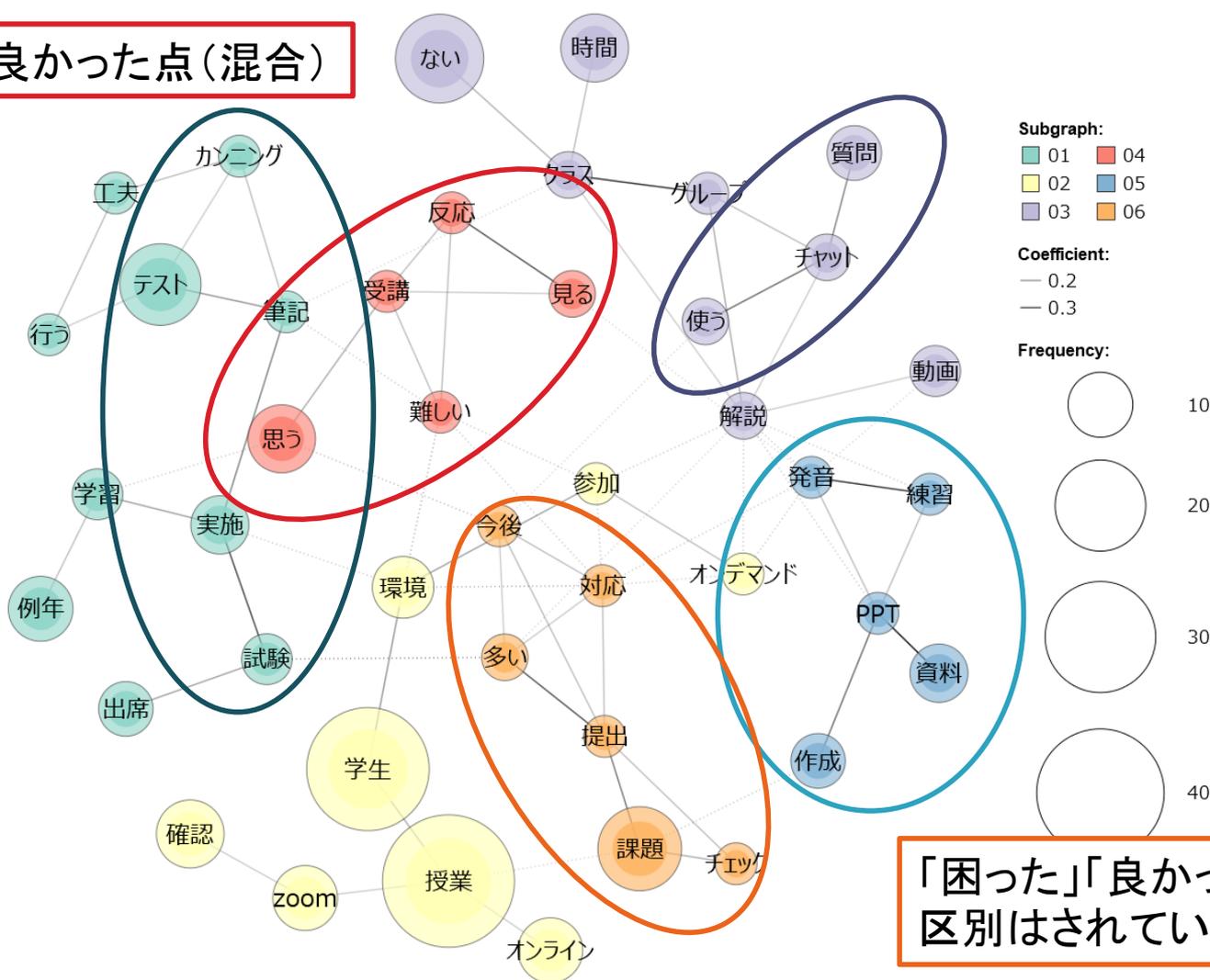
配布資料を
ご参照ください

- 0.3
- 0.4
- 0.5



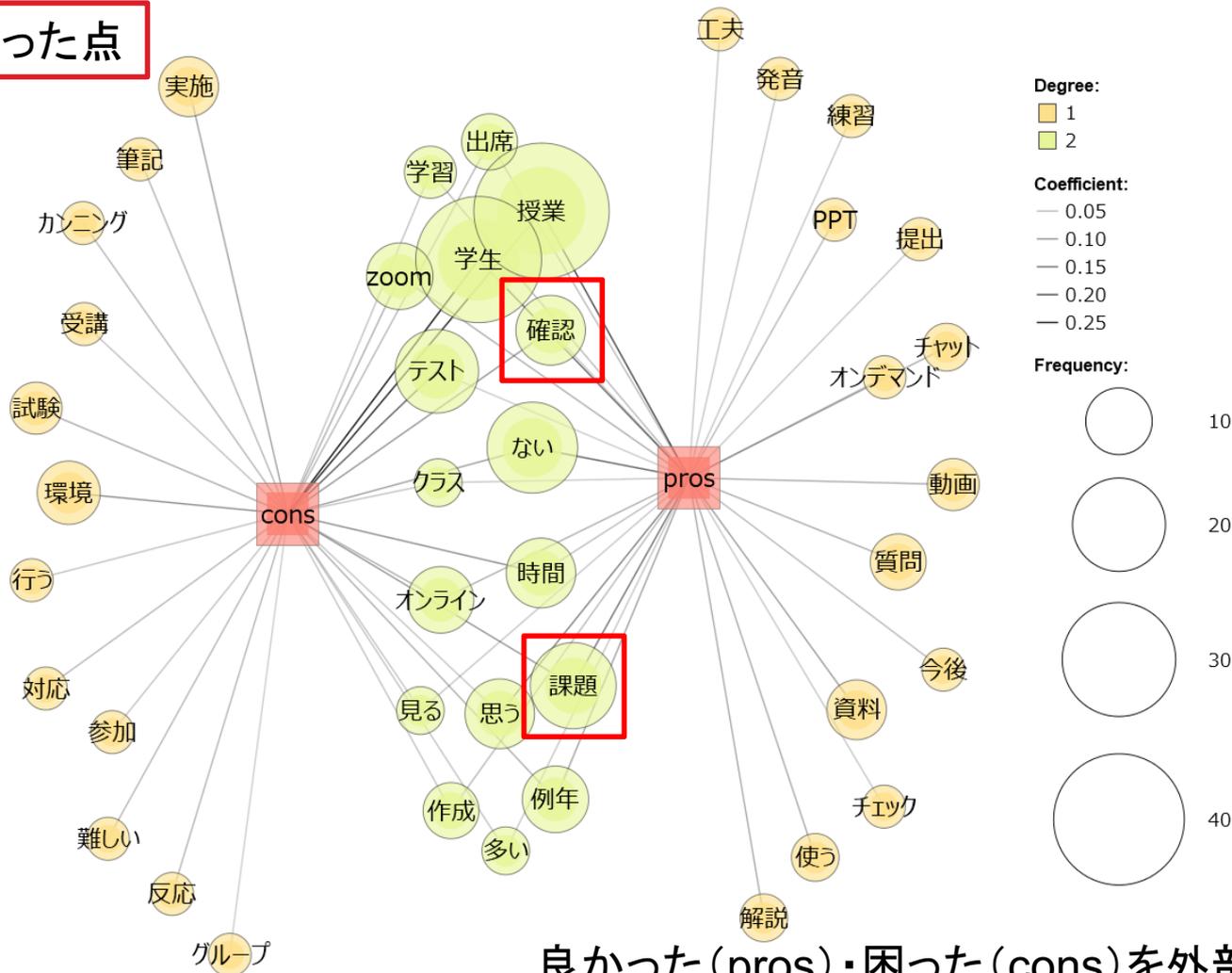
KH Coderを使用して
共起ネットワークを作成

困った点・良かった点(混合)



「困った」「良かった」の
区別はされていないので注意

困った点・良かった点



良かった(pros)・困った(cons)を外部変数として

賛否両論：「確認」

1. ...その後も提出の確認などの問い合わせに個別に対応すること
にかなりの時間がかかった。
2. zoomの授業だったので授業中の理解度の確認が対面の授業の
時より確認しづらかった。
3. 学生がついてきているのかどうか確認できないことが不安だった。
4. 時間制限をするなどカンニングを防止する工夫はしたが、本当に
できたか確認できない。
5. テストできちんと覚えてやっているかどうかの確認ができなかった
こと。

賛否両論：「確認」

1. 学生が動画を見て、講師の発音や口の動きを繰り返し確認できたこと。
2. 教室ではうつむいたりして口元が確認しにくいことがあるが、zoomの方が口元が確認しやすかった。

賛否両論：「課題」

1. 前もって授業の流れを計算し、資料の配布や課題を用意することに時間がかかった。
2. 大量な課題のチェック。
3. 教材作りと課題添削によるオーバーワーク。
4. Moodleの出席は押してあるが、zoomでの応答がなく、課題の提出、試験の受験はある学生などは、どのように判断すべきか迷う部分が多かった

賛否両論：「課題」

1. btsのメンバー紹介をグループごとにプレゼンしてもらうなど興味
の持続しそうな課題を、グループワークでたくさん出して、クラス
内の学生同士のつながりとモチベーションを保ってもらえるように
2. 課題に対するフィードバックや質問など、学生との個別のやりとり
がしやすかった。
3. 課題や小テストを含め、授業の可視度が上がった点。
4. 学生たちが提出した課題を細かくチェックすることができた点。
5. 出席率が上がったことと、課題を例年より頑張ってくれた
6. 録音する課題を出し、授業時チェックすることで学力向上に繋
がったと思う。
7. 課題添削が手書きより楽であること。

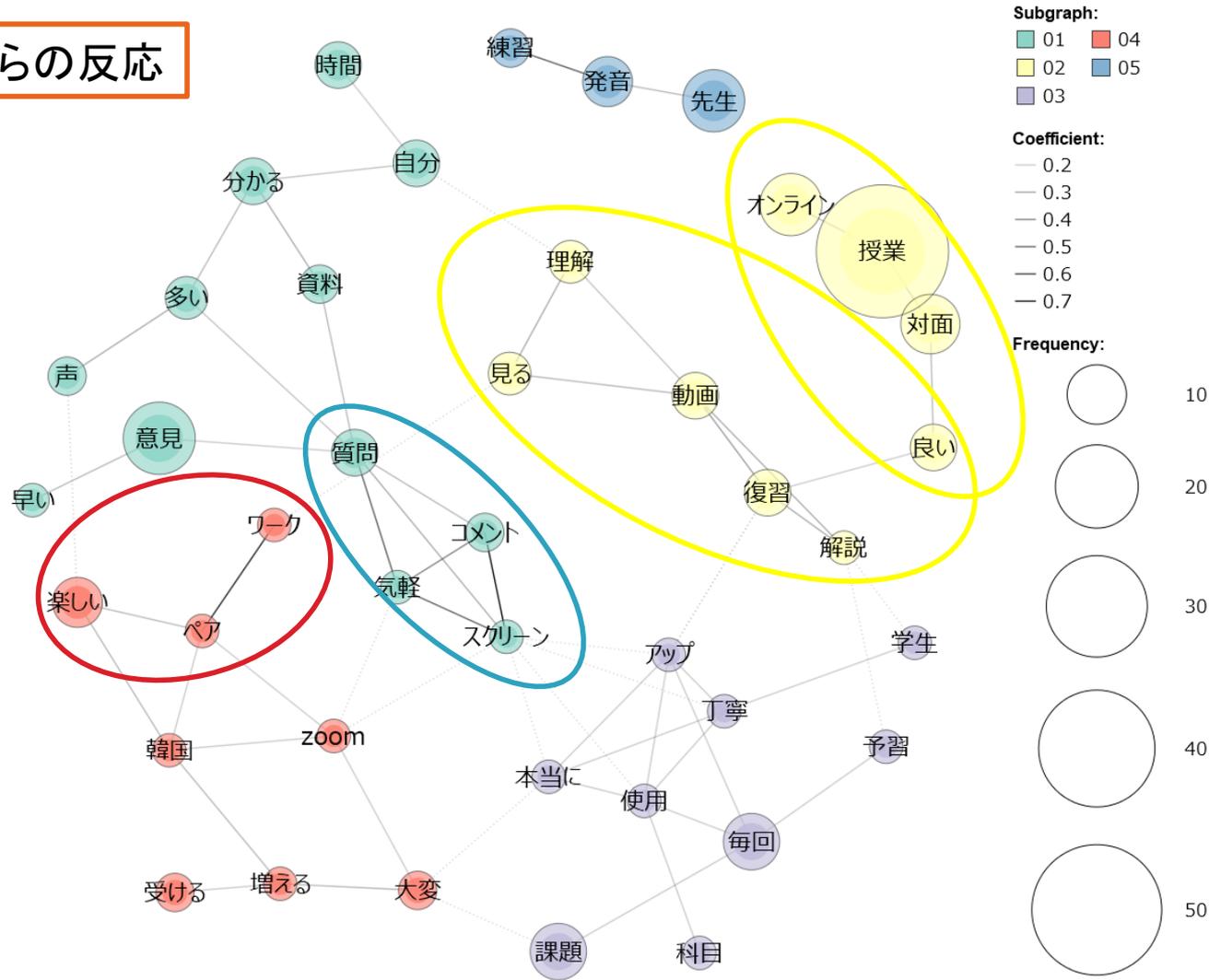
賛否両論：受講生への目配り

1. 学生からの発言が少ない。
2. 学生の表情が見えない。
3. 学生の反応を見ながら授業を進めることができなくなった。
4. 学生がついてきているのかどうか確認できないことが不安だった。
5. 学生の反応が読みにくい。
6. 全体の様子が見まわせないのは、不便。

賛否両論：受講生への目配り

1. オンライン上でチャット機能を使い、色々と質問をしてくれた。チャットは学生にとって身近なツールなので、使いやすいし、発言をしやすかったようだ。
2. 課題に対するフィードバックや質問など、学生との個別のやりとりがしやすかった。
3. 学生からの質問（チャットやメールなどで質問し易かったと思われる）
4. 授業が終わった後、質問がある人はZoomに残るようにしたことによっていろいろ学習についての相談にのれた。

受講生からの反応



受講生からの意見 (pros and cons)

1. 周りの目を気にせず発音練習ができてよかった、先生の口元が見やすかった、など発音に関して肯定的なコメントをもらいました。[リアルタイム・オンデマンド・課題]
2. コメントスクリーンは匿名性なので、気軽に質問したらできて助かった。些細なことでも聞きやすい。先生がすぐに答えてくれたりすると嬉しい。[リアルタイム・オンデマンド・課題]
3. 毎回同じパターンで課題が出るので、回を重ねるごとに時間がかからなくなった。[リアルタイム・オンデマンド]
4. オンライン授業によって集中できた、ペアワークやグループワークが楽しかった [リアルタイム・オンデマンド・課題]

受講生からの意見 (pros and cons)

1. ブレイクアウトを毎回使用したこともあり、他の授業より楽しく、モチベーションの維持にもつながったという意見があった。[リアルタイム・課題]
2. [...] それも、先生の授業のリズムの良さのおかげだと思っています。予習と復習と、授業での解説・演習・雑談(笑)とがバランスよくできていて、遠隔授業の良さを引き出しているように感じました。[リアルタイム・オンデマンド・課題]
3. [...] zoomでもさまざまな人とペアを組んで韓国語で会話を考えてみるのも楽しく、独学では対話の練習がなかなかできないのでとてもよかったです。そして何より、先生がここまでしてくれたのだからわたしも頑張ろうと思うことができました。[リアルタイム・オンデマンド・課題]

受講生からの意見 (pros and cons)

1. やはり対面の授業の方が良いと言われました。[リアルタイム・対面]
2. [...] 間違ったところをすぐに指摘してもらえないので効率的ではない、教室のペアワークで話ながら覚えるのが得意なので自分には合わない、など。[オンデマンド]
3. 文法など内容の説明が分かりにくかった。(板書が自由にできないためかも) [リアルタイム・課題・対面]
4. 中間アンケートで、授業が少し早いという意見が2名ほどあり、その後速度を落として授業を行うことで改善しました。教師側が授業をしていても対面と違って反応が見られないため、理解しているものと思い、進めていたようです。[リアルタイム]

受講生からの意見 (pros and cons)

1. [...]しかし、朝油断して遅く起きるなど、自分のことをコントロールしにくいという学生が2～3名いた。[リアルタイム]
2. 資料のみの授業では分からないところがある、自分がどれくらい理解できているのか分かりにくい、課題が多すぎる、対面図業より気軽に質問できないなど。[リアルタイム・オンデマンド・課題]

受講生の状況(要約)

1. **通信状況が悪い**, パケットが底をついた
 - A) 大学側でWi-Fiの貸し出し, 通信教室の開放など対策あるケース
2. プリントアウトできない
3. 不正行為
4. 「隣で兄弟もオンライン授業を受けていて、発音してもらったりするとき兄弟が歌をうたったりする声ははいつてきたりして気の毒でした。家族と一緒に受けていました」

今後の見通し(要約)

- 「**基本的に変更なし**」が3分の1程度
- 発音の機会, 学生の活動を増やす
- フィードバック, フォローの改善
- 小テストの工夫
- 評価の割合を改善
- 動画の作成

まとめ

- 受講者数などの点では大きな減少はなかった
- 多様な授業運営を展開
 - 通信環境など，受講生側の要件も考慮に入れる必要
 - オンラインでもペアワークなど「対人」のコミュニケーションが評価高い
 - 受講生が気軽に質問できる環境・方法・雰囲気 の整備
- 残る課題：例年の授業と進度の比較ができなかった
 - オンライン授業で授業回数が減少したケース
 - シラバス通りに進めることができたか？

ご協力ありがとうございました

ご清聴ありがとうございました